

世帯と人口

(7月1日現在)

世帯	43,746	(+ 12)
人口	118,800人	(+ 5)
男	60,690人	(- 22)
女	58,110人	(+ 27)

この数値は平成12年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

燃えさかる炎をもとみせず、みこしと担ぎ手が進んでいく



えびな模様…門沢橋から

伝統受け継ぐ夏祭り

市民のつながり深める祭り

祖先を敬ったり、五穀豊穡を祝ったりする行事のひとつとして市内の至る所で「お祭り」が行われています。近年では自治会ごとに行われることが多く、人々の親ほくを因るうえで大変貴重な催しとなっています。今回紹介する「渋谷神社祭礼」は、伝統を重んじ、この地区に住む人々の理解と協力で、古来から連綿と行われている行事です。

渋谷神社の歴史は古く、起源は平安時代末期にさかのぼるともいわれていますが、神社に伝わる木札に書かれた「神輿修理来歴」には、みこしの完成は137年前の元治元年(1864年)と読み取れる記述があります。みこしは念入りな手入れをされながら使われ続け、現在も当時のままの彫刻が生きています。

また、相模川の水で身を清め、写真のような炎の上をみこしの担ぎ手が進んでいくといった演出は市内では他に例をみません。

門沢橋は相模川に面し、河原は人々が集う憩いの場所となっています。川魚が豊富に捕れ、夏の猛暑には涼を与えてくれるこの川を、昔から地元の人たちはこよなく愛していました。ゆえに、相模川にみこしを担いで入り、身を清めたといわれています。そして、夜道を照らすかがり火の代わりに麦わらをたいて、神社へと大山街道を練り歩きました。

現在は河原の状況も違い危険なため、みこしを担いで川に入ることは行われなくなりましたが、あらかじめくんでおいた川の水を、担ぎ手にかけるという工夫で伝統を受け継いでいます。

見る者をも興奮させる「渋谷神社祭礼」。周辺地区からの参加者なども多く、この伝統ある祭りの継承が、市民のつながりをより深く、強いものにしていくことでしょう。

門沢橋 アラカルト

- ◎人口 4,658人
- ◎世帯 1,634世帯
- ◎面積 1.43平方キロメートル
〔市全面積 26.48平方キロメートル〕
- ◎地名の由来
一歩門を出ればたくさんの橋があることに起因するといわれている。古くは門川橋と呼ばれていた。江戸時代には門沢橋で定着。